

2007年度

事業報告書・決算書

自 2007年4月1日

至 2008年3月31日

財団法人三鷹国際交流協会

第1 事業報告書

1 事業の概要

経済のグローバル化による人の国際移動の活発化などによって、地域社会の「国際化」を取り巻く状況が大きく変化してきています。三鷹市でも、3千人を超える外国籍市民が、様々な形で地域社会と関わりを待ちながら生活しており、これからの「国際交流」のあり方が大きく問われるようになってきています。

こうした中、MISHOPの活動に求められるのは、市民による草の根の『国際交流』活動の実践を通じて、多文化共生に向けた市民の『国際理解』を醸成していくことです。

さらに、公益法人制度改革関連3法の成立によって、2008年12月から新しい公益法人制度がスタートします。移行期間である5年以内に、こうした公益法人をめぐる法制度の激変への対応も考えていかなければなりません。

このような時代の大きな変化の中にある本年度、MISHOPは三鷹市と協働で、新たな展望を模索しながら、様々な事業展開を図りました。

(1) 主な事業

MISHOPは2009年度に発足20周年という節目を迎えます。そして、今後の発展のためには、MISHOPを支える会員の参加意欲と満足度をより一層高めながら、グローバル化する社会のニーズに合った活動を展開していくことが大切です。そのため、本年度のMISHOPフォーラムでは、MISHOPの原点とこれまでの歩みを見つめ直すとともに、今後の活動の方向性などについて活発な意見交換を行い、それを具体的にどのように展開するかについて、引き続き検討していくこととなりました。

合わせて、今後、外国籍市民への生活支援などにどのように取り組んでいくかを考えるため、当事者の生の声を、日々のラウンジ活動の中などで積極的に聞くよう心がけてきました。

MISHOP最大のイベントである『三鷹国際交流フェスティバル』は、本年度、「みたかで世界と手をつなごう」をテーマに、特に、子ども向けの企画を拡充し、約250人のボランティアの協力を得ながら開催しました。参加者数は、昨年を上回る約35,000人で、今や三鷹市のみならず都内でも指折りの一大イベントとして定着した感があります。

このほか、外国籍市民の安全・安心を守る視点から、「災害時外国籍市民支援センター」のマニュアルづくりなどにも取り組みました。

(2) 財政状況

三鷹市が外郭団体への補助制度に関して開始した「経営インセンティブ方式」は、昨今

の厳しい財政事情の下、外郭団体の自立性を高めるとともに、より一層の経営努力を求めるものです。

MISHOP では 2006 年度からこの方式を導入し、5 年間の補助金定額保証額を活用しながら、経済性・効率性を重視した経営努力を続けてきています。

その一環として、本年度は、基本財産の積極的な運用を行い、当初予算を大幅に上回る運用収入を得ることができました。そのため補正予算を編成してこの運用収入を「財政調整資金」に積み立て、財団としての自立性を維持するための留保財源を一定額確保しました。

MISHOP では各事業を担当する委員会を設置し、会員の参加により具体的な計画を立てて実施しています。

「地域における国際交流事業」は主に市民交流委員会が担当し、その中で特に青少年向けの事業は青少年企画委員会が担当しています。また、「国際理解の推進に関する啓発・普及事業」は国際理解委員会が、「国際交流に関する広報事業」は企画広報委員会がそれぞれ担当しています。これら 4 つの委員会は毎月 1 回会議を開催し、担当する事業に関しての具体案を検討するとともに、メンバーがスタッフとして事業の実施を支えています。

こうした委員会などの連携を図るとともに、維持会員の意見を MISHOP の活動に反映させるために設置しているのが、連絡調整会議です。これは各委員会の長と理事によって構成され、毎月開催しています。

このように、MISHOP の活動は維持会員・理事・評議員を核としながら、常に市民参加を目指し、企画から実施までの行程を市民の手によって行っています。また、自主グループという形態で、事業実績には載らない活動も数多く存在しています。

財団法人三鷹国際交流協会は、今後も、多文化共生社会の実現に向け、国際交流の実践の舞台を提供していくとともに、市民のみなさんのニーズに合った活動や問題解決型の事業展開を取り入れた活動を行っていきます。

会員等の現況

維持会員等現況（2008年3月31日現在）

維持会員数：一般会員 519 人 学生会員 56 人 計 575 人
賛助会員数：12 団体
外国人登録者数：532 人

年会費額

一般会員 3,000 円
学生会員 1,000 円
賛助会員 50,000 円

賛助会員団体名称

(財)アジア・アフリカ文化財団
学校法人杏林学園
国際基督教大学
東京女子大学
ルーテル学院大学
三鷹商工会
三鷹青年会議所
協同組合三鷹ハイテクセンター
東京三鷹ライオンズクラブ
東京三鷹ロータリークラブ
明星学園高等学校
東京むさし農業協同組合

2 事業実績

(1) 市民の国際活動に対する助成事業(寄附行為第4条第1号関係)

市民の国際交流活動の活性化を目指し、自主的に行う交流活動に財政的援助を行うための助成制度。本年度は実績がなかった。

(2) 地域における国際交流事業(寄附行為第4条第2号関係)

外国籍市民との交流など、市民が直接海外の人々や文化に触れる機会を設け、異文化理解の促進と国際化意識の高揚を図った。

ア MISHOP 維持会員報告会(Kick-off Meeting 2007)

活動拠点である MISHOP フロアで、活動ビデオによる 2006 年度事業活動報告や本年度事業予定を会員に紹介するとともに、「明日の MISHOP を考える～課題解決型事業への取り組みに向けて～」というテーマで、グループ討議により意見交換を行った。

実施日：6月23日(土)13:30～16:00

会場：MISHOP フロア

参加者：49名

イ 外国籍市民交流事業「世界を食べよう」

外国籍市民に自国料理の指導を依頼し、参加者とともに料理を作り会食することを通して、相互の交流及び異文化理解の促進を図った。

vol.56「インド」

実施日：6月30日(土)9:30～14:00

会場：消費者活動センター

参加者：33名

vol.57「餅つき」 連雀コミュニティ・センター祭りと共同で開催

実施日：10月20日(土)10:00～12:00

会場：連雀コミュニティ・センター

参加者：21名

ウ 海外学生交流事業

東京女子大学と韓国誠信女子大学との定例的な夏期交換留学事業の一部を MISHOP が受け持ち、みたか市役所連の協力を得て、阿波踊りと衣装の着付けなどの日本文化体験を行なった。

実施日：8月9日(木)17:00～21:00

会場：三鷹市公会堂別館・三鷹市役所中庭

参加者：44名

エ MISHOP WORLD 2007～第 18 回三鷹国際交流フェスティバル～

台風接近による事業中止を避けるために、開催時期を 10 月に変更。4 月から実行委員会を設置し、企画、準備を行い「みたかで世界と手をつなごう」をテーマに、子ども向けの企画を拡充して実施した。また、会員が運営するふれあいゾーンを充実させるとともに、MISHOP 入会受付テントを設置し、MISHOP の PR を行った。

実施日：10 月 14 日（日）10:00～16:00

会場：井の頭公園西園

オ 青少年交流事業「MISHOP 国際交流スキーツアー」

青少年の国際交流活動への参加を促進するため、若年層を中心とした日本人と外国籍市民がスキーを通じて交流を深めた。なお、参加者にとって貴重で楽しい体験となるよう、川上村をはじめ、川上村国際交流協会や川上村スキークラブなどの協力を得て、初心者向けスキー講習や夜にはスポーツ交流会を行った。

実施日：2 月 23 日（土）～24 日（日）1 泊 2 日

場所：長野県川上村シャトレーゼ・スキーリゾートハケ岳

宿泊：川上郷自然の村（三鷹市校外学習施設）

参加者：63 名

カ 交流サロン

日本の伝統文化などを外国籍市民に実際に体験してもらったり、外国籍市民が自国の紹介をしたりしながら、異文化理解を深めるために交流を図った。

5 月交流サロン～MISHOP 国際交流ウォークラリー2007～

設定されたコースを外国籍市民と会員などの参加者による小グループでクイズを解きながら巡り、ゴール到着後、結果発表と表彰を行うとともに、軽くお茶を飲みながら交流を図った。

実施日：5 月 20 日（日）11:30～16:00（全国ウォークラリーの日）

場所：井の頭公園～三鷹駅前コミュニティ・センター

参加者：130 名

6 月交流サロン～浴衣着付け教室～

自分で着ることを目標に、全 3 回の連続講座で実施した。

実施日：6 月 29 日（金）、7 月 6 日（金）、7 月 21 日（土）

会場：MISHOP 会議室

参加者：24 名

7 月交流サロン～夏の課外ラウンジ「東京湾納涼船クルーズ」～

夏の風物詩である納涼船で、夜の東京湾をクルーズしながら交流を図った。

実施日：7 月 20 日（金）17:00～21:30

場所：東京湾（竹芝棧橋発着）

参加者：31名

11月交流サロン～秋の課外ラウンジ「昭和記念公園に行こう！」～

パークトレインに乗車して園内を一周し、いちよう並木を散策しながら会員、外国籍市民相互の交流を図った。

実施日：11月13日（火）10:00～16:00

場所：国営昭和記念公園（立川市）

参加者：30名

12月交流サロン～MISHOP フェアウェルパーティー2007～

実施日：12月15日（土）15:00～17:00

会場：MISHOP フロア

内容：年の瀬を前にMISHOPの活動の一年間を振り返るとともに、クイズやゲームなどを行いながら会員、外国籍市民の親睦を図った。

参加者：160名

キ NGO 交流事業

「国際協力やってみる～!？」をテーマに、市内で活動するNGO代表者による活動紹介、ジャン・E・プレゲンス氏（当協会副理事長）の事例報告、フィリピン民族舞踊の披露などを実施。気軽にできる市民レベルの国際交流のあり方を探った。

実施日：11月10日（土）13:00～16:00

会場：駅前コミュニティ・センター地下1階大会議室

参加者：55名

ク 青少年意識啓発事業「青少年クイズラリー」

小中学生に世界に興味を持ってもらうため、フェスティバルの中で、テントごとに用意されたクイズを解きながら会場を回るクイズラリーを実施した。楽しい雰囲気の中、様々な国の人たちと気軽に交流を図ることができた。

実施日：10月14日（日）10:00～16:00

会場：三鷹国際交流フェスティバル会場（井の頭公園西園）

参加者：約600名

ケ バスハイク事業

外国籍市民とMISHOP会員によるバスツアーで、東京消防庁本所防災館で災害から自分の身を守る方法を学ぶとともに、浅草寺と下町風俗資料館を見学しながら交流を深めた。

実施日：3月8日（土）9:00～17:30

場所：本所防災館・浅草寺・下町風俗資料館

参加者：29名

コ 子ども交流会～親子で楽しむアフリカンリズム～

アフリカの曲を聴き、楽器に触れ、リズムに合わせて踊ることで、音楽を通じてアフリカに関する異文化理解を促進するために開催。親子の参加により親子間の交流の機会ともなった。

実施日：8月24日（金）14:00～15:30

会場：三鷹駅前コミュニティ・センター地下1階大会議室

参加者：82名

サ 「国際理解教育プログラム」および「語学サポート」の実施

国際理解教育プログラム

小中学生・高校生の異文化理解を進めるため、基本的に4つのメニューから成る「国際理解教育プログラム」を作成し、市内の小中学校・高等学校で実施するもの。今年度は実績がなかった。

語学サポート

市内の小中学校に編入した日本語が不自由な児童・生徒のため、教育委員会からの要請に応え、有資格者のボランティアを紹介し、日本語のサポートを行った。

実施回数：6校 200回（時限）

(3) 国際理解の推進に関する啓発・普及事業(寄附行為第4条第3号関係)

国際化の進展に伴い、異文化理解の必要性が高まっている。言語をはじめとするいろいろな諸文化に触れ、理解を深めることにより、相互理解の進展を図るため、日本語、中国語、ハングルなどの語学講座や、国際理解のための講座などを実施した。

ア 日本語入門講座

日本語の入門講座を実施し、外国籍市民に日本語学習の機会を提供。内容的には、日常生活に必要な生活漢字を学習する漢字コースと初心者会話コースを設置した。なお、MISHOP 会員で日本語教師としての有資格者が講師を務めた。

漢字コース（春）

実施日：4月18日(水)～6月27日(水)、全10回

会場：MISHOP 会議室

講師：大久保由貴子氏・川合喜美子氏

参加費：3,000円

参加者：5名

会話コース

実施日：9月29日(土)～12月22日(土)、全10回

会場：MISHOP 会議室

講師：柳本知子氏・田口あゆみ氏

参加費：3,000円

参加者：5名

漢字コース（秋）

実施日：9月12日（水）～11月28日（水）、全10回

会場：MISHOP 会議室

講師：大久保由貴子氏・川合喜美子氏

参加費：3,000円

参加者：11名

漢字コース（冬）

実施日：1月9日（水）～3月12日（水）、全10回

会場：MISHOP 会議室

講師：大久保由貴子氏・川合喜美子氏

参加費：3,000円

参加者：16名

イ 日本語教授法入門講座

外国人の日本語習得を支援する人材を育成するため、専門講師を招き、日本語を教える技法を中心に、実践に近い内容での日本語教授法の入門講座を実施した。

第1回（午後）

実施日：6月21日（木）～8月23日（木）、全10回

会場：MISHOP 会議室

講師：平田泉氏

参加費：10,000円

参加者：16名

第2回（夜間）

実施日：1月16日（水）～3月19日（水）、全10回

会場：MISHOP 会議室

講師：渡邊予里氏

参加費：10,000円

参加者：12名

ウ 外国語講座

中国語入門講座

初心者を対象にした中国語入門講座を実施した。

実施日：1月19日（土）～3月22日（土）、全10回

会場：MISHOP 会議室

講師：王迺鋼氏

参加費：10,000円

参加者：19名

ハンゲル入門講座

初心者を対象にしたハンゲル入門講座を実施した。

実施日：5月25日(金)～7月28日(金)、全10回

会場：MISHOP 会議室

講師：金愛慶氏

参加費：10,000円

参加者：22名

エ JAPANESE LOUNGE

毎週火曜日の午前と金曜日の午後に、外国籍市民と市民が自由に集まり、日本語を媒体に異文化理解を深めるために実施した。

オ ENGLISH LOUNGE

毎週金曜日の午後に、外国籍市民と市民が自由に集まり、英語を媒体に異文化理解を深めるために実施した。

カ 国際理解講座

専門講師を招き、その時々の世界情勢についてのマスコミでは伝わらない生の声や異文化理解に役立つ情報についての講演会を実施した。

第59回国際理解講座「古いインド・新しいインド～日印文化協定締結50周年記念～」

実施日：6月16日(土)

会場：三鷹駅前コミュニティ・センター地下1階大会議室

講師：新津晃一氏

参加者：74名

第60回国際理解講座「ヒンドゥー・ナショナリズムの現在」

実施日：11月17日(土)

会場：三鷹駅前コミュニティ・センター地下1階大会議室

講師：中島岳志氏

参加者：73名

キ MISHOP フォーラム

「HOP STEP JUMP MISHOP!～外国籍市民にとっても住みやすいまちを目指して～」をテーマに実施。2009年度にはMISHOP発足20周年を迎えることから、発足当時MISHOPが目指したものを再確認するとともに、これからの方向性をグループ討議により意見交換を行なった。

実施日：3月15日(土)

会場：MISHOP フロア

参加者：55名

ク 日本語個人教授(LLJ)

ボランティアが外国籍市民にマンツーマンで日本語を教えるシステムをつくり、恒常的に日本語教授を行った。日本人ボランティア、外国籍市民双方の希望者を登録し、日本語のレベルやスケジュールに合わせてマッチングによりペアをつくり、MISHOP ラウンジなどでレッスンを行った。また、マッチング(第5週目を除く毎週木曜日)と月例ミーティングの開催、日本人ボランティアの交流と情報交換のための LLJ 交流会の開催などを行った。

ケ スタディツアー報告会

自主グループであるスタディツアーの活動報告会を開催した。

スタディツアー概要

訪問地：インド

実施日：8月23日(木)～9月13日(木)

参加者：9名

報告会

実施日：10月20日(土)

会場：三鷹駅前コミュニティ・センター地下1階大会議室

参加者：70名

(4) 国際交流に関する広報事業(寄附行為第4条第4号関係)

MISHOP が行う各種事業を広く PR するとともに、その時々国際情勢を的確に伝え、市民の国際化意識の高揚を図るため、広報誌の編集、短信、ニュースレター、ポストカードの増刷、ホームページのリニューアルの検討と更新作業などを行った。

ア 広報誌の編集

「YEAR BOOK 2006～2007」

規格：A4版 オールカラー 20ページ立て

部数：3,000部発行

イ 短信およびニュースレターの発行

規格：短信(A4版 単色 4ページ)、ニュースレター(A4版 単色 2ページ)

部数：短信(約1,500部発行)、ニュースレター(4か国語-約650部発行)

発行日：毎月月末

送付先：維持会員、賛助会員、外国籍市民登録者、市内各公共施設、市内大学および教育機関、都内国際交流関連団体、関係NGO等

ウ ポストカードの増刷

規格：B6版 カラー

部数：1,000枚

送付先：維持会員、賛助会員、外国籍市民登録者、市内各公共施設、市内大学及び教育機関、都内国際交流関連団体、関係 NGO など

エ MISHOP 情報の効果的発信

MISHOP 情報の効果的でアップデートな発信を図るため、ホームページ更新作業を適宜実施。さらにスムーズな発信ができるように、ホームページのリニューアルに向けた検討も続けている。

オ 災害発生時における外国籍市民対策事業

三鷹市との「防災パートナーシップに関する協定」に基づく外国籍市民支援体制を確立するため、三鷹市総合防災訓練に参加するとともに、MISHOP 独自の訓練として災害時外国籍市民支援センター設置運営訓練を実施し、その検証結果を踏まえて、災害時外国籍市民支援センター設置運営マニュアルを策定した。また、三鷹市と共催で、災害時に語学ボランティアとして活動する通訳翻訳ボランティアを対象とした通訳技術クリニックを開催した。

防災訓練（三鷹市総合防災訓練・災害時外国籍市民支援センター設置運営訓練）

実施日：1月18日（金）

会場：MISHOP フロア

参加者：25名

通訳技術クリニック

実施日：2月16日・3月1日・3月8日の各土曜日

会場：三鷹駅前コミュニティ・センター地下1階大会議室

参加者：延べ58名

(5) 三鷹国際交流センター指定管理者事業(寄附行為第4条第5号関係)

三鷹市中央通りタウンプラザの4階フロア部分に関し、三鷹国際交流センターおよび女性交流室の管理運営を行うため、指定管理者として三鷹市と協定を締結し、会議室の貸出業務および施設・設備の保全を行った。

管理施設：三鷹国際交流センターおよび女性交流室

協定内容：指定管理者として上記管理施設に係る使用、貸出等同施設の管理・保全を行う

協定期間：2006年4月1日～2009年3月31日

(6) その他

三鷹市と協働で実施している通訳・翻訳ボランティアサービス制度の利用申請の受付を実施した。

ボランティア登録者数：109名

利用件数：4件（4名のボランティアに依頼）

監 査 報 告 書

2008年5月13日

財団法人三鷹国際交流協会

理事長 菊 地 弘 様

財団法人三鷹国際交流協会寄附行為第10条の規定に基づき、2007年度事業報告書、収支計算書、正味財産増減計算書、貸借対照表、財産目録及び関係書類をもとに会計監査を行いました。また、理事会に出席し、業務の報告を聴取し、関係書類の閲覧など必要と思われる監査手続を用いて業務監査を行いました。

その結果、上記関係書類は、会計帳簿の金額と一致し、協会の収支及び財産状況を適正に表示していること、業務の内容についても事業報告書のとおり適正に執行されていること、理事の業務執行に関する不正の行為又は法令若しくは寄付行為に違反する重大な事実はないこと、以上についてこれを認めます。

2008年5月13日

財 団 法 人 三 鷹 国 際 交 流 協 会

監 事

監 事

2007 年度財団法人三鷹国際交流協会決算に係る事業報告書及び決算書に関し、寄附行為第 10 条の規定により監事の意見を付して承認を求めます。

2007 年 5 月 27 日

財団法人三鷹国際交流協会
理事長 菊地 弘